

発議案第2号

インボイス制度導入の延期を求める意見書

地方自治法第99条の規定に基づき、政府関係機関に対し、インボイス制度導入の延期を求める意見書を別紙のとおり提出するものとする。

令和5年6月29日提出

提出者 北上市議会議員 鈴木 健二郎

賛成者 北上市議会議員 司 東 道 雄

同 三 宅 靖

同 星 敦 子

同 高 橋 孝 二

提案理由

インボイス制度導入の延期を求めるため、政府関係機関に対し意見書を提出しようとするものである。

インボイス制度導入の延期を求める意見書

今北上市議会に、「インボイス制度を考えるフリーランスの会」（代表 阿部伸）から、「国に対し、適格請求書等保存方式（インボイス制度）の延期・見直しを求める陳情書」が提出されました。その内容は、「新型コロナが経済に打撃を与え、物価上昇も加わり、地域経済は一層疲弊するもと、今年10月からインボイス制度がはじまります。インボイス制度は、事業者間の取引慣行を壊し、免税点制度を実質的に廃止するものです。中小零細事業者にとって消費税は現在、価格に転嫁することが困難な状況にあり、インボイスが導入されると、廃業の増加や成長意欲の低下を招き、地域経済の衰退に拍車をかけ、加えて制度の周知が不十分であるため、このまま実施されれば、多くの混乱を招く恐れがあります。」として、インボイス制度の延期・見直しを求めています。

陳情者が言うように、インボイスを発行するには、営業収入が少なくても課税事業者になる必要があり、消費税納入の義務が生じます。また、課税事業者が消費税の仕入れ税額控除を受けるためにはインボイスが必要となるため、免税事業者は取引から除外される可能性があります。そうしますと、現在、北上市内の事業者をはじめ、花巻税務署管内では約2,000の免税事業者がいますと言われていますが、個人事業主、フリーランス、一人親方、個人タクシー運転手、小規模農家、シルバー人材センターの仕事をする高齢者など、広範な事業者に負担増が強いられることとなります。

シルバー人材センターのように支払い先の多くが免税事業者であり、その支払い先がインボイスを登録しない場合仕入れ税額控除ができず、多額の税負担が強いられることとなります。その影響は俳優や声優、作家、漫画家などにも及び、日本漫画家協会、日本SF作家クラブ、日本美術著作権連合、全国青色申告総連合、日本商工会議所全国中小企業団体中央会、全国建設労働組合総連合、中小企業家同友会、日本チェーンストア協会などが延期・見直し、懸念の声を上げています。そして、「インボイス制度の中止を求める税理士の会」主催の院内集会（2022年6月9日、2023年3月30日）には、野党と自民党の国会議員が参加し登壇。自民党の「責任ある積極財政を推進する議員連盟」は政府に対し、「インボイス制度導入延期」の申し入れ（2023年3月15日）や同党地方議員からは「反対」の声が上がっています。

このように、インボイス制度導入に対して多くの事業者や各団体、そして国会議員や政党からも反対や延期を求める意見、懸念の声が上がっています。

いま、多くの事業者は新型コロナの影響が続き、物価高騰の中、事業継続に懸命に取り組んでおり、インボイス制度への登録、経理変更準備に取りかかれる状況にありません。特に、零細企業や個人事業主は、新型コロナ禍による売り上げ減少に続く、円安の影響等による物価高騰の影響が大きく、この時期にインボイス制度を導入することは死活問題となります。よって、延期すべきと考えます。

以上の趣旨により、次の事項について政府関係機関に対して意見書を提出しようとするものです。

2023年10月導入予定のインボイス（適格請求書）制度導入は延期すること。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき意見書を提出します。

令和5年6月29日

岩手県北上市議会

（提出先）
衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
総務大臣
財務大臣